

■公認スポーツ栄養士

養成目的 スポーツ活動現場における、栄養・食事に関する専門的なサポートを担うための、高い実践能力を有する人材を養成する。

役割 地域におけるスポーツ活動現場や都道府県レベルの競技者育成において、スポーツ栄養の専門的知識を持つスタッフとして、競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高めるための栄養教育や、食事環境の整備に関する専門的視点からの支援等、栄養サポートを行う。

受講条件 受講申込年度の4月1日現在満22歳以上の管理栄養士で、スポーツ栄養指導の経験がある者、または予定の

ある者のうち本会及び日本栄養士会が認めた者。

カリキュラム 共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ：152.5h（集合40h 自宅学習112.5h）専門科目：116.5h

受講料（5年間） 共通科目18,900円 専門科目18,900円

登録料（4年間） 15,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修

資格登録有効期限4年間のうちに、日本栄養士会が定める研修を受けなければならない。

連絡先 日本スポーツ栄養研究会

カリキュラム内容	時間数
1) スポーツ栄養士に必要な基礎的知識	16.5h
2) スポーツ栄養士の役割	1h
3) スポーツ栄養・マネジメント（講義・演習）	4h
4) スポーツ栄養アセスメント（講義・実習）	15h
5) 食事管理（講義・演習）	3h
6) 食事・栄養指導法（講義・演習）	22h
7) スポーツ医学（講義）	10h
8) 運動生理・生化学（講義）	3h
9) エビデンス ベースト スポーツニュートリション（講義）	2h
10) インターンシップ	40h
計	116.5h

（注）「1）スポーツ栄養士に必要な基礎的知識」については、日本スポーツ栄養研究会が実施する「スポーツ栄養ベーシックコース」（受講料別途）を受講すること。